

## 経済ボケツ ジャーナル

★今年さらに充実する

### 西神工業団地

神戸市西区の緑豊かな丘陵地に造成が進められている西神インダストリアルパーク（西神工業団地）は、



西神インダストリアルパーク

昭和53年度の分譲開始以来、順調に企業進出が進んでいる。現在操業中の企業は85社を数え、その他進出決定企業数を合わせると136社にものぼる（S60・12現在）

今年から操業を始める主な企業は、神戸製鋼所、日本電気、ガデリウス、星電器製造、光印刷、東洋インキ製造、東亜医用電子、タイガースポリマー、大和紙器、扶桑精工、オリエンタル鍍金、アサヒゴムなど。先端技術産業を中心とし



たもので神戸の産業の多様化・高度化への寄与が大きい期待される。

### ★ポートアイランドで

日欧経済フォーラム開催  
神戸市と財神戸国際交流協会、神戸インポートフェア協議会の主催により、3月25日午後2～4時、神戸国際会議場メインホールにて、日欧を代表する財界人



植村光雄会長  
経済討  
議「日  
欧経済



デッカー会長  
「フォー  
ラム」  
が開催  
される



磯村尚徳氏  
側は、  
経団連  
・日本

EC委員会委員長の植村光雄・住友商事会長、ヨーロッパからは、欧州最大の電機メーカーのフリリッブス社

のデッカー会長が出席。司会にはNHKの磯村尚徳氏。

3月26日～30日の5日間、神戸国際展示場において開催される欧州機器見本市「メードインヨーロッパフェア」の協賛行事だ。

■お問い合わせ（財）神戸国際交流協会  
コンベンション事業部企画推進課  
電話 078（303）0090まで

### ★モードオリオンが

ファッショントウンに  
婦人アパレルのモードオリオン（清水由民社長）が



本社ビル完成予想図

今度、ポートアイランドのファッショントウンに本社ビルを構えることになった。

企業のイメージアップと業績向上をはかったもの

### ★KOBEOフィスレディ★

飛沢 美樹さん（23）  
神戸支店勤務



この会社に入ってから丸1年。OAレディとして、接客・パソコンスクール講師・事務等をこなす。「いろんな人と接することができるし、コンピューターにも強い人ばかりで実に居心地が良い」とのこと。現在、昨夏から始めたゴルフに意欲満々。業天家で、本音でズバリものを言う。かに座のA型は本人曰く大変家庭的だそう…。神戸山手女子短大卒。



白鶴まる 700ml  
のサケ  
パック  
5種の

姉妹品として登場。「夫婦にピッタリ、親子にピッタリ。ふたりの関係にちょうどいいサイズ」とのこと。

で、新しくできる本社ビルは、鉄筋八階建て、延べ面積は約4950平方メートル。白のタイルとガラス張りを基調にした洒落たデザインの建物。今年4月着工で来年3月完成予定。

またまた、ファッショントウンが華やかになりそう★ご家庭ますますまる化！

白鶴酒造株式会社（本社・東灘区）は、このたび現在好評の「白鶴まる」シリーズの新タイプとして、サケパック「白鶴まる」700ml詰を500円で新発売

東京では、新しい劇場が次々と造られ、ブロードウェイで上演された舞台作品を映画化したものはもちろん、翻訳され、上演される舞台にも、多くの観客が集まる。ツアーで本場ブロードウェイのミュージカルを観に行く時代を過ぎ、今年は「コララス・ライン」「四十二番街」「ドリーム・ガールズ」とビックな作品が3つも来日。ミュージカルブームも大爆発の気配。

そんな中で昨年11月帝国劇場で上演され話題を呼んだミュージカル「シカゴ」が、いよいよ4月に梅田コマに登場。日本のミュージカルのトップスター鳳蘭と、宝塚退団後初めての舞台となった麻実れいの夢の顔合わせとなったこの公演。日生劇場で「デュエット」を公演中の鳳蘭さんの楽屋にお邪魔して、主演のお二人のミュージカル談義を公演より一足先にお届けいたします。

\* \* \*

★ターコが2人殺して、私は1人殺します。



ツレ（鳳蘭）とターコ（麻実れい）の

## 鳳蘭VS麻実れい ルやる人です

鳳「シカゴ」では、夫がいるんだけど、愛人に振られそうになって、その愛人をピストルで殺して刑務所に送られる、ロクシー・ハートが私の役。刑務所に入ってみたら、ターコ（麻実）がやっているベルマ・ケリーが刑務所のスターで、そのうち、彼女の弁護士を盗んだりして、私がスターにのし上がっていく。そして最後はもっと凄いスターが出て来て、仕方がないから、二人で組んで興行に出る、というお話。ターコは誰を殺したんだけ？

麻実 私は結婚してなくて、情夫、紐みたいな男と妹を殺す。

鳳 あなたの方が二人殺すのね、私は一人しか殺さないのに（笑）。

麻実（笑）そうなんです。

鳳 一カ月間やってみてどうだった。

麻実 無我夢中のうちに終わってしまったんですね。また大阪と名古屋と公演させていただけるんで、気持ちも新たに頑張りたいと思っています。

宝塚のどこを探してもない様な役で、引き出しが空っぽだったから、とても恐くて、この「シカゴ」を終わってから外の舞台を観ると、やっぱり自然であることが素晴らしいって感じました。「女にならなくちゃ」っていう気持ちがかきつかったんですね。でも「女にならなければ」という不自然な気持ちがあるうちは、出てくるものも不自然なんです。だから今度はお稽古の時に、もう一回そのままでやってみよう、と思うんです。

鳳 私は宝塚を離れてもう7年。作品も7本目だけれども、何となく、私の場合は役柄が明るい、パンパパーのアメリ



## シカゴ 対談 私達ミュージカ

しんどいし、じゃまくさいの。  
麻実 何にも作らず声もそのままの声。それがすごく自然に舞台に入っていく。勉強させていただきました。

結果的には、非常に女々しい女ではなかったの私にとって、外での初めての役としてよかったと思います。ほんとに女っぽい役が来ていたら手も足も出なかったのでしょうね。

鳳 ラッキーだったね。宝塚をやめて、人生の第一歩としては最高の作品に巡り会えたんじゃないかしら。

こういう舞台に立っていて、身体の爪の先から髪の手先まで全身で表現できる。お芝居だけで表現出来ないエキスを歌であり踊りであり、この肉体で表現出来るすべてがミュージカルにはあるじゃない。だからミュージカルが一番好きね。全部表現出来るから。タコもそれしか知らないからね。宝塚の人ってみんなそうね。歌って踊ってお芝居することしか知らないからね。

麻実 何か一つ欠けても、不安と不自然さがあって。

鳳 ミュージカルは、役のその色を出すけれども、ショーは自分自身を出せるから、どちらも好き。

麻実 そうですね。宝塚を退めて、第一歩を踏み出して男の人との共演初めてもでしたけど、ツレちゃんや星組のトップスターだった頃、私は研三で組子として出させていたでましたけど、退団されてから、一緒に、下で演らせていただくという可能性が全くなかったのが、一緒にさ

せて頂ける、というのがまず大きな変化でした。この二つ以外は、あまり変わらない。みんなで一つのものを作っていく、という世界ですし、お客様と舞台の世界であるし、オフでも相変わらず学生

鳳 私、嫌いなもの。あせるのが。  
（鳳）ちゃんは静かにそのまま、スーッと初日を迎えちゃう。だから大きな方だなあと思いました。  
鳳 私、嫌いなもの。あせるのが。  
麻実 お稽古を観ていたら、本当に自然なんですわね。何もしていないうちに、そのままだっていつちゃう。ほんとにびっくりしました。私はものすごくあせるんですね。スローセツかちで、仕事をやっているとかにかくあせっちゃう。それがツレ（鳳）ちゃんは静かにそのまま、スーッと初日を迎えちゃう。だから大きな方だなあと思いました。



ロクシーとベルマです





「流れるままに生きてるのね」 鳳蘭さん

鳳 東京の人は、劇場がいっぱいあって、常に何かやっているから目が肥えていらつしやる。大阪の方が暖かい、私は地元だし。大阪でやっていると優しく包まれて、決して甘いということではなくて、ホツとするわね。

麻実 東京と大阪ではかなり感じが違いますね。退団後初めてなので、嬉しいです。

鳳 ターコの場合はみんな待っているもんね。麻実 東京は、ずいぶん劇場が増えましたね。

鳳 ほんとうに。私達が生きる場所が増えて、よかったね(笑)、大阪も増えていくと思うけど大阪の人は良い悪いがはっきりしているから、あまりアクセサリーばく劇場見物な

っぽい生活をしています。"シカゴ"のために髪もちょっと伸ばしていて。退めてから一度伸ばしてみたいと思ってたけれども、うっとうしいですね(笑)。

鳳 私もそうだった。男役で絶対ロングには出来ないでしょう。それで絶対伸ばしたくなるんだけど、伸ばしたら邪魔になって切っちゃう。

麻実 シカゴが終わったから切ってみようと思ってます。

鳳 終わらないから、今年一年は(笑)。

麻実 趣味と実益というわけではないですけど、観ることが一番勉強になりますし、観ることが楽しい。いろいろ観ていきたいですね。"デュエット"も拝見しました。ツレちゃん出ずっぱりですね。

鳳 二人芝居だからね。でも"シカゴ"の事考えたら楽ね。私、退めてから初めて。あんなに踊ったの。そうそう踊りの役はない。ミュージカルっていつも主役はそんなに踊らないし。ほんとに息が切れちゃった。

麻実 かなりどころじゃないですね。踊りが各場に入りこんでいるから。外国のショーとかミュージカルは、センターが踊らなくちゃいけないっていうのをつくづく感じました。

★私の"女優姿"観に来て下さい!!



身体いっぱい表現

んてしないでしょう、本当に観たいものしか観ないから。そういう意味では厳しい。東京には"日生観たのよ"とか"帝劇行ったの"という所があるからね。"シカゴ"も、またお稽古に入ったら、新しい発見があると思う。麻実 一枚でもいいから、脱いで自然に演りたいなあと思いますね。その一枚が大変ですけども。"シカゴ"の話が決まってから、毎日のようにダンスをしていたんですけども、精神と肉体が伴わなくて腰を痛めてしまったので今は無理はしないで、暇をみつけて動かすようにしているんです。

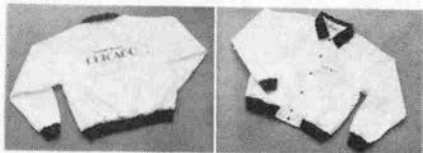


「少しでも自然にやりたいですね」と麻美さん

★ミュージカル“シカゴ”読者プレゼント

4月1日(火)～25日(金)まで梅田コマで上演される“シカゴ”の前夜祭、3月31日(月)18時に読者の方5組10名様をご招待。そしてもう1つ、“シカゴ”に合わせて作られたスタジオアムジャンパー(写真)を1名様にプレゼント。

希望者は、ハガキに住所・氏名・年齢。前夜祭希望またはジャンパー希望と明記の上、神戸市中央区東町113-1 大神ビル9F 月刊 神戸っ子「シカゴ」係へ。3月20日締切。



鳳 私はいつも流れるままに生きているのね。  
 麻実 それで舞台を観ていると、客席にものすごいパワ  
 ーが流れるんですね。  
 鳳 ターコは努力家ね。芯はしっかりと持っているし。  
 麻実 やらないと出来ないから。  
 鳳 努力家だとは聞いていたけど、実際に一緒に演って  
 驚きました。スカート買った？  
 麻実 少しずつ購入しています(笑)  
 鳳 “スカートはきなさい”って怒ったのよね。  
 麻実 あの一言ではくようになりましたね。慣れないも  
 んですよ、スカートって(笑)  
 鳳 私はスカートよ。私はもう完全な女です(笑)  
 麻実 私も動かなければ、女らしく見えるようになった  
 んですよ(笑)  
 鳳 私の女優姿、観に来て下さいって言わなくちゃ(笑)  
 麻実 ダメなんです。まだ女優っていうのが。  
 鳳 慣れないね、私もまだ慣れないから大丈夫よ(笑)  
 麻実 ツレちゃんは女優です。  
 鳳 私もまだ駄目。恥ずかしい。“女優”って言われたら  
 “エッ嘘”っていう感じ。  
 麻実 まだ、ねえ。女にも程遠いから。

鳳 ミュージカル演る人でもいいね(笑)  
 麻実 ツレちゃんの場合は、日本のミュージカルのトッ  
 プスターですから、大阪に行けることも嬉しいですけれ  
 ども、いつも自分が出ていない時でも、袖から覗いてみ  
 て、客席と一緒に笑っちゃうんですね。また大阪、  
 名古屋とそれが出来るのが嬉しいですね。  
 鳳 あっけらかんとして殺人をやったりで、物語はすこ  
 いですけれども、割と明るくて楽しいミュージカルなの  
 で、お暇なら、ではなくて、お暇を作ってぜひ観にいら  
 してください。



踊りまくります



良いお席は前売でお早目に

鳳 蘭、麻実れいのとってもステキなミュージカル!

# CHICAGO

東宝ミュージカル特別公演

脚本・フレッド・エッパ・ホフ・フォッシー  
モーション・ピクチャー・カンパニーの映画「シカゴ」にもとづく  
作曲・ジョン・カンター / 作詞・フレッド・エッパ

演出・振付・トニー・スターブンス

ホフ・フォッシーの演出・振付による

# シカゴ

ミュージカル・ホドビル



ママ・モートン  
加茂さくら



エモモリヤマ  
小鹿 番

麻実れい



CHICAGO

翻訳・酒井洋子 / 訳詞・宮谷時子 / 音楽監督・内藤孝敏 / 衣裳・緒方規矩子 / 装飾・トニー・ワルドン・小林雅夫  
照明・吉井登雄 / 音楽・本間 明 / 演出補・宮崎紀夫 / 製作・古川 清

東京(帝劇)初演で絶賛  
○配役の妙と振り付けのよさで  
鳳・麻実コンビが持ち味発揮  
○何よりすばらしいのはホフ・フォッ  
シーの振り付け。華麗にしてリス  
ミカルな官能的なダンスをたっぷ  
り楽しませてくれる。  
(読売新聞 朝日新聞)

鳳 蘭



若林 豪

4月1日⇒25日 S8500円・A6000円  
B4000円・C2000円  
★★★★華麗に絶賛前売中★★★★

日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25
日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25
月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25
火	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25
水	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25
木	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25
金	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25
土	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25
日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25

電話予約受付中ノ

06(315)1646 (時 間) 10時〜5時半



宝町あかね 森田守恒 新倉まりこ 中丸 新将 西田伊公子 宇田 豪司 河野 恵理 紫城いずみ

## 梅田コマ劇場

〒530 大阪市北区角田町5番14号 ☎06(313)3251

新しい関西を創造する総合雑誌

# オール関西

好評発売中 ¥580 (年間購読 ¥8,000) **3月号**



## 特集

### ★うまいもん大阪★

「関西の味・四方山ばなし」 桂米朝  
アンケート 「私のすすめる大阪のうまい店」



★スターハイライト

●上方味覚紀行「順正」楠本憲吉

朝丘雪路

カルチャーカレンダー／パーティ&シンポジウム／タウンジ  
ヤール／今月の健康／名医に聞く／BOOKレビュー／オ  
ラクル／激突／グリーンライバル／川柳／玄妙禅談／グルー  
プ登場／友人交歓／GOOD LIFE 賛歌2

パーソナリティ 86

猪野千恵子  
佐本進  
竹中功  
沖田宣子

大阪の曲り角  
木津川 計

程さんのうんちく料理塾  
程 一彦

孟さんの新風俗記  
高橋 孟

日本の宝との出会い  
「信貴山緑起絵巻」  
杉山平一

関大創立100周年記念企画  
関西大学人国記(法学部)

象印マホービン



創造の世界  
象印マホービン

■巻頭インタビュー  
**須田 剋太**



## ■第15回■

月刊神戸っ子ブルーメール賞

《文学部門》  
選考座談会新しいことばをひらく  
武田信明に

★収穫多いここ1・2年の詩部門  
伊勢田 ここ1・2年の詩の大きな流れ、話題から言えば、去年出版された「兵庫の詩人たち」、昨年の「神戸の詩人たち」この2冊の詩集があげられると思うので

●選考委員●

伊勢田 史郎  
＜詩人＞安 水 稔 和  
＜詩人＞君 本 昌 久  
＜詩人＞

す。この2冊は、何といっても安水さん、君本さんの2人の力で創り上げた特筆すべき詩集だと思います。特に「兵庫の詩人たち」では、埋もれた我々の先達の、優れた仕事を発掘しており、よく研究した上の、凝縮された各詩人の紹介がなされています。

安水 去年の暮れに現代詩神戸研究会が出版した詩集「神戸市街地図」を合わせて3冊ともが、考えてやろうとしたものでなく、いわば自然に生まれたものです。このように何かをまとめると、その後に新しい動きが必ず起こってきます。

君本 ここ1・2年でも、新しい動きというか、ブルーメール賞に値する人物が増えてきました。詩集と作者を順にあげてみると、一昨年では、竜崎次郎「天眼鏡」、多久和三郎「転々」、今井ふじ子「麦秀の歌」、江口節「江口節詩集」、

山口三智「いまもあったかい石」、田中紀子「沐浴」、渡辺信雄「冬の私信」、西谷民五郎「おれたちの誄歌」、昨年になるとたかはらおさむ「調子つばずれの歌」、海部洋三「干潟の風景」、西垣矩美子「待つ」、正木越彩「星雲の影」、なかけんじ「たまむし色の」、渋谷江美「日々の波紋」、幻太郎「野の鈴」、大塚あき「日米怪談」、静文夫「季節」、宮川守「椅子」、荒木ヒサ子「ねえ神様そう思わないですか」、住吉千代美「巻き貝」、たかとう匡子「危機たちの点描」、福田知子「紅のゆくえ」、武田信明「ロールシャッハの猫」、多久和三郎「虚竜時代」、中浜睦子「聖なる木」、香山雅代「慈童」、山下一也「ミイラになった蝶」、中島好子「メトセラの村」、和田博文「和田博文詩集」、吉田正道「ヒト」。

伊勢田 他に日本詩人クラブ賞をとった中村隆の「詩人の商売」、小



能秀雄賞をとった和田英子の「單

線の周辺」、三宅武の「私記列伝」。

安水 三宅武は、確かブルーメール賞をすでに受賞したはずだが、その後の活躍にも光るものがある。

伊勢田 尼崎在住ではあるが高橋徹の「生きものたち」、大川ひろ子の「もういつぼんの鉛筆」もよかった。

安水 この中からしぼっていけば女性では、田中のり子と福田知子がぱっと頭に浮かぶ。

君本 男性でいえば、多久和二郎、武田信明だね。

安水 それから渡辺信雄。

伊勢田 僕も彼はいいと思う。

安水 ブルーメール賞の性格から言っても、今あげた5人は有力候補

補といえるね。

伊勢田 他では、幻太郎「野の鈴」、たかとう匡子「危機たちの点描」も印象的だ。

君本 他もさることながら、今回は、やはり田中のり子、福田知子、多久和二郎、武田信明、渡辺信雄の5人にしぼられるだろう。その

中から1人となると、ずっと男性がつづいてきたけれど、やはり男性で武田信明を推したいね。

伊勢田 私は、何故詩を書くかの原点を強く感じる渡辺信雄を推薦します。

★深まりゆく神戸の「詩」

君本 戦後詩、近代詩、現代詩という分け方があるけれど、今の詩の定型をさわろうとする息づかい、定型を超えた大きな型の芽ば



武田信明処女詩集「ロール・シャッパの猫」

●受賞者メモリアル

- |          |           |
|----------|-----------|
| 1. 中村 隆  | 8. 桜井 利枝  |
| 2. 鄭 承博  | 9. 梅村 光明  |
| 3. 小泉八重子 | 10. 吉保 知佐 |
| 4. 福元 早夫 | 11. 季村 敏夫 |
| 5. 三宅 武  | 12. 福岡 勝利 |
| 6. 秋吉 好  | 13. 時里 二郎 |
| 7. 江頭 越子 | 14. 松尾美恵子 |
- ＜詩＞      ＜小説＞      ＜詩＞      ＜小説＞      ＜詩＞      ＜小説＞      ＜詩＞      ＜小説＞

△文中敬称略▽

伊勢田 では武田ということ。自分が傷ついた中で詩を生み出す渡辺の仕事も大事にしたいですね。安水 神戸で詩賞をつくる、というの提案しておきましょう。

君本 賛成です。

伊勢田 詩をどうしても書かざるをえない、そのために血と汗を流した典型的な形をとる渡辺信雄に、今という時代だからこそ、賞を贈りたいという気持ち強い。

安水 武田、渡辺両氏の名前が出ているけれど、田中のり子の持つ詩の質は、今後、抜群になると思うね。新しい言葉を生み出していくという点では、武田か田中。詩の水準といえは、全く比べようがないだけに難しいが、今回は、渡辺のよさを分った上で、武田信明の新しい言葉の世界に期待しましょうか。

伊勢田 詩をどうしても書かざるをえない、そのために血と汗を流した典型的な形をとる渡辺信雄に、今という時代だからこそ、賞を贈りたいという気持ち強い。

安水 武田、渡辺両氏の名前が出ているけれど、田中のり子の持つ詩の質は、今後、抜群になると思うね。新しい言葉を生み出していくという点では、武田か田中。詩の水準といえは、全く比べようがないだけに難しいが、今回は、渡辺のよさを分った上で、武田信明の新しい言葉の世界に期待しましょうか。

## ■第15回■

月刊神戸っ子ブルーメール賞

《音楽部門》  
選考座談会水準高いほんもの  
延原武春に

★新人で光った右近恭子

小石 昨年の前半は朝比奈千足が  
まづいますね。出谷 ドシナ・ホールでやった声  
楽の水沢節子。

小石 志賀美津夫、バイオリンの

## ●選考委員●

出谷 啓  
＜音楽評論家＞小石 忠男  
＜音楽評論家＞柴田 仁  
＜音楽評論家＞

北浦洋子ね。延原武春、添田孝（ビ

アノ）。長坂ゆき子もあったね。

山上明美。小林泰助、それから、

今井勲子（声楽）、井上和世（声

楽）、ギターの佐野健治。

出谷 井原直子（声楽）も宝塚出身。

小石 右近恭子がベガホール。

出谷 新人でよかったですね。

でも前半はバツとしませんな。

小石 青井敬子（ビアノ）、大久保

磨里（ビアノ）がザ・シンフォニー

ホールね。

柴田 武谷安子（ビアノ）。田淵幸

三（ビアノ）がベガホールだったで

すね。今度は聴いてない。文化祭

の最中だったのでね。

小石 小倉直子（ビアノ）。伊丹の

岩崎宇紀が十二月に……。そんなと

ころかな。

柴田 上原まり（琵琶）を聴きま

したが、音楽部門なのかな。

小石 私はLPレコードを聴きま

した。芸術祭参加なので長かった。

柴田 三月のベガホールと、十月

の文化ホール。十月はお母さん（柴

田旭堂）と一緒にだったので、ちょ

っと影にかくれてしまっていますな。

小石 作曲の大前哲。

出谷 昨年の作品はよくなかった

小石 リコーダーの北山孝。人数

は随分出ましたね。

柴田 パレエの貞松隔の息子で貞

松正一郎。関西であれだけ踊れる

人は少ないよ。ロアール賞をとっ

ていますがね。

★バツハ三百年祭か？

源平八百祭か？

小石 田淵幸三、松本幸三の新春

コンサート。服がよかった（笑）

楽しめましたか？。

出谷 まあでも皆、これはという

決定打にかけるような気がする。

大阪も含めて全般に低調というか

印象に残る演奏、光るものが少な

い。だから年間ということになる

と延原武春などが上ってくる。全



体のクオリティーを考えると、水準は高いが、井植文化賞と一緒にいうのはケツタクソ悪いところもあるなあ(笑)。

小石 そろそろ出しておかんと。サントリー文化賞は、日本テレマシ協会に賞が出てその代表だしね。上原まりを考えてもいいね。

伝統音楽に新しい創作を加えていくところがいい。

出谷 ぼくは聴いたらんからな。

柴田 源平八〇〇年祭ということもありますね。琵琶を弾いていてきものからサツと白い腕が出たりするとなかなか色っぽい。(笑)おしゃべりが上手い。それで唄いだすと全然違う古典的な声になるところが面白い。

小石 レコードは力作でしたよ。

柴田 田淵幸三のベガを聴いてない。テープだけ聴いたので面白いことは面白いがどこまで信用できるか判らないのですね。

小石、出谷 我々も聴いてない。

ピアノは岩崎宇紀と青井啓子が印象に残った。

出谷 この間のパツハにはミスがありましたね。右近恭子はよかったね。新人賞ならいいけれど。

小石 ベガの演奏は水準高かった

出谷 センスもいい。いかにも新人の優秀なという感じですね。ただ延原なんかとくらべると実績がね。

小石 上原まりも新鮮でしたから

小・中・高生への無料演奏旅行も五〇校近くやっているしね。でも、まあ、これからもチャンスはある。



('60年3月18日東ベルリン/シャウシュピールハウスにて)

まだちょっと社会的な広がりを持つという点では少し足りない。

延原も、この辺でそろそろという感じはする。神戸へ引越してきて七、八年は過ぎています。

柴田 井植文化賞が引つかかるね

小石 東京で三回、東ドイツへ、

パツハ生誕祭に行きましたしね。パツハ三百年祭と源平八百年祭のどっちにしよう(笑)、三百年対八百年やね(笑)。

神戸でパツハをというのもやってくるし、神戸秋の芸術祭も、水準が揃っている。

柴田 延原が出て来たらどうにもならんね。

出谷 でもやっぱり延原でしょう

小石 上原まりのオリジナリティも新鮮でした。延原武春の東京の定期二回と霊南坂教会も水準

以上に良かったです。

出谷 大阪、夙川など何度も聴いてるけど、昔のように落差がなく

て水準が揃って、本ものですよ。

小石 それでは今年延原武春に決定ですね。

△文中敬称略▽

●受賞者メモリアル

- |                    |                       |
|--------------------|-----------------------|
| 1. 田原 富子<br>＜ピアノ＞  | 8. 坂本 環<br>＜声楽＞       |
| 2. 矢野恵一郎<br>＜合唱指導＞ | 9. 山内 鈴子<br>＜ピアノ＞     |
| 3. 上月 倫子<br>＜バレエ＞  | 10. 松本 幸三<br>＜声楽＞     |
| 4. 今岡 頌子<br>＜バレエ＞  | 11. 伊藤 ルミ<br>＜ピアノ＞    |
| 5. 小石 忠男<br>＜音楽評論＞ | 12. 井上 和世<br>＜声楽＞     |
| 6. 中村 茂隆<br>＜作曲＞   | 13. 末広 光夫<br>＜プロデュース＞ |
| 7. 関 晴子<br>＜ピアノ＞   | 14. 安芸 栄子<br>＜声楽＞     |

■第15回■

月刊神戸っ子ブルーメール賞



《美術部門》  
選考座談会

# 生活の孤独感を描く 石川晴久に

★今年の前衛抽象派から  
具象派へ指向転換を

伊藤 これまで、ブルーメール賞  
の受賞者は前衛意識が強かった。  
新人すべてが前衛ではありません  
から、今回は石川晴久のような具

●選考委員●



草野 拓郎  
＜神戸新聞学芸部＞



伊藤 誠  
＜姫路市立美術館副館長＞



赤根 和生  
＜美術評論家＞

象の正当派を推したい。彼は第2  
回伊藤藤蔵記念賞展入選を果たして  
います。

団体では二紀会が活発に動いて  
ますが、その中で滝本周造がよく  
賞を取ってます。しかし、もう一  
つ飛躍が欲しい。

赤根 でも彼は個展をやってない  
でしょう。団体だと田中徳喜も行  
動美術で頑張っている。

草野 彼は熱心に活動してるし、  
真面目な人ですよ。

伊藤 賞をもらっていいないので、  
いい機会かもしれない。

赤根 田中美穂もぐんとよくなっ  
た。シテイギャラリーで個展をや  
りましたね。彼女の作品は、同心  
円的な円が以前より流動的になっ  
て日本的色づかいをしている。特  
に朱の使い方がいいね。今年のア  
ートナウに推薦するつもりです。  
どうしても、女性の名前がでで  
ますね。男性がだらしなくなつた

と思う。

草野 知念正文もガンバっている  
し、松井憲作はシテイギャラリー  
と大阪現代美術センターで個展を  
開いた。岩見健二は安井賞で最後  
まで争いましたが結局、賞はもら  
えなかった。まだ若いですが太田  
正人がほりかわでやった個展は感  
動的でした。鴨居玲さんも感心し  
ていた。僕も期待せずにいたら、  
物凄く力のある幻想風の具象画で  
びっくりしました。他に増田正三  
郎、鴨下葉子がおもしろいと思う  
最近の森環もいいし、それに僕も  
石川晴久を候補にあげたい。

伊藤 女性では、神戸で個展して  
ないかもしれないけれど、京都と  
姫路で活動している松本京子もい  
る。アメリカにずっといて、日本へ  
あまり帰ってこないのが残念だ。

赤根 三村逸子もよくやってる。  
伊藤 田中守はどうかなあ、彼は  
ユニークですよ。東門グループで



は清水浄かな。

草野 山口さんとこの砂のシリーズ  
ローズガーデン美術公募展で賞を  
とった孫雅由もおもしろい。しか  
し、これまで前衛作家が多いので  
今回は具象作家を推したいですね  
赤根 ただ具象の新しさとなると  
ね。

伊藤 具象の方が歴史が長いので  
新しいことをするのはなかなか難  
かしいが、新しさで田中徳喜をあ  
げたい。

赤根 若さがほしいね、若い点で  
は椿昇だね。

草野 奨励賞的ですが、かなり安  
定していて実力派は石川、岩見か  
伊藤 安井賞の常連、南俊宏もい  
い絵を描きます。安井賞に毎年だ  
せるのはすごい。



第29回新世紀展 “遠い海” (1984年作品 S 80号)  
石川 晴久作

赤根 植松奎二はどうだろう。  
伊藤 一、二年神戸で個展してな  
いでしよう。ドイツでの活躍ぶり  
は立派です。

★地道に努力を重ねる石川晴久に  
草野 石川、植松、南、太田、鴨下に  
しぼって選考していきましよう。

伊藤 植松はもう一年まってもい  
いね。やっぱり神戸で個展を開い  
て、作品を見せてほしい。

赤根 海外でも活躍してたらいい  
と思うけどね。

伊藤 個展では石川が文句ないで  
しよう。うろこの館で開いたのは  
群を抜いていた。南は残念ながら  
個展ではないからね。

草野 写真力がある太田は、まだ  
若いので次を期待できる。

伊藤 以前賞を取った人でもいい

なら榎忠だね。彼は凄い。水道筋  
での個展は誰が見ても“ヤッタ  
ネ”という感じがする。彼は実  
によくやっています。体当りの作品  
作っているので訴えるパワーが違  
います。

草野 発想が作品を発表するた  
びにコロコロ変わる。だから次に何  
がでてるかわかりませんね。

神戸のようにスマートなところ  
でああいう発想がでてるのがお  
もしろい。

赤根 彼の作品を壊さずに、ど  
こか一つにまとめていたら、それ  
だけで十分美術館ができるのに、  
惜しいですね。

伊藤 ところで、僕はあくまでも  
石川を推したいね、彼の絵の中に  
は人影や生物はでてこないけれ  
ど、人の気配を感じさせる絵にな  
るとすごいと思う。

草野 今回のブルーメール賞美術  
部門は、地道に活動続ける石川  
晴久に決定しましょうか。

△文中敬称略▽

●受賞者メモリアル

- |          |           |
|----------|-----------|
| 1. 山口 牧生 | 8. 堀尾 貞治  |
| <彫刻>     | <造形>      |
| 2. 丸本 耕  | 9. 榎 忠    |
| <造形>     | <造形>      |
| 3. 小西 保文 | 10. 松谷 武判 |
| <洋画>     | <版画>      |
| 4. 藤原 向意 | 11. 木下佳通代 |
| <版画>     | <平面>      |
| 5. 斎藤 智  | 12. 宮崎 豊治 |
| <平面>     | <造形>      |
| 6. 鄭 相和  | 13. 藤原 志保 |
| <洋画>     | <平面>      |
| 7. 山本 文彦 | 14. 武田 則明 |
| <洋画>     | <建築>      |



名生 昭雄

<兵庫県立宝塚北高校教頭>



岡田 美代

<演出家>



佐野 遼 箕

<神戸新聞厚生事業団理事長>

★地力が増しつつある各舞台  
名生 昨年度の舞台芸術部門の動きを、演劇から見ていくと、まだまだ水準が上がってきていない。学芸会的な色合いがどうしても強く、ややプロ的な劇団神戸にして

■第15回■  
月刊神戸っ子ブルーメール賞



《舞台芸術部門》  
選考座談会

# 心の表現が出て来た 松本尚蒔に

も、ゲストの方が光って見える。

岡田 しかし10月に風月堂ホールでやった「海神別荘」は、あの小屋でよく消化していましたね。

佐野 なかなかの出来でした。演劇で目立ったものといえば、これぐらいでしょう。

岡田 ファンタジック性が少なかった分、文学性が高まって、芯のある舞台でしたね。

名生 装置も凝っていましたし。ゲストの栗塚旭が特によかった。

岡田 洋舞の方では、貞松・浜田バレエ団が伸びて、団としての動きがまとまってきたようです。

佐野 三十周年の記念公演を10月にやりましたね。

名生 若干、題材の選定に狭さを感じられなくもないですが、全体として良くなってきました。

岡田 クラシックをきちつと貞松バレエ団なりに振付けてやっていて欲しいですね。関西でも群を

抜いてきてますから。それから11月の舞踊公演では、踊り手としての藤田佳代がよかったです。

名生 技術は持っていますね。

佐野 太田由利は舞台数が少なくて寂しかった。

名生 宝塚北高校のバレエの非常勤講師として、熱心な指導をしています。

佐野 そういう学校が出来たというのは、一つの灯です。それから加藤きよ子が神戸市民文化奨励賞受賞記念のリサイタルで「お七」を踊りました。日本舞踊を見ますと、まず松本尚蒔。形が出来上がってきました。

岡田 大和屋のリサイタル「鉄輪」

「こすの」とあたりは、心の表現が出てきましたね。昨年はそのごく努力をして伸びました。変わってきました。

佐野 花柳芳恵一子はぜひ芳一を襲名してもらいたいですね。

佐野 花柳芳恵一子はぜひ芳一を襲名してもらいたいですね。

佐野 花柳芳恵一子はぜひ芳一を襲名してもらいたいですね。

佐野 花柳芳恵一子はぜひ芳一を襲名してもらいたいですね。

佐野 花柳芳恵一子はぜひ芳一を襲名してもらいたいですね。

佐野 花柳芳恵一子はぜひ芳一を襲名してもらいたいですね。





60・11・21 大和屋リサイタル「富士太鼓」

岡田 私のパーティで二月に踊った「お祭り」はこれまでで最高。名生 彼女も気負わずに、ノット時はいい踊りをします。

佐野 久田徹二は相変わらず堅実な舞台をやっています。

岡田 名古屋での舞台でしたが、「安達ヶ原」を現代風の解釈にして、若い人、初めての人にもわかってもらえるような能を演じてました。艶やかな能でした。

名生 実力があるだけに安定しています。飛躍の時が来るでしょう佐野 ユニバーシアード協賛の邦楽邦舞の会での大和楽社中がよかったです。声が出るようになって関西で貴重な存在になりましたね名生 積み重ねが出てきたということでしょう。

岡田 踊りの伴奏ということではなく、邦楽として聞かせる舞台を持ってきたということがいいです。大和楽というのは表現が美しい世界です。

名生 神戸市立博物館での神代初美の演奏もよかったです。

佐野 活躍する場を与えれば、もっと伸びるでしょう。

名生 博物館の「邦楽を楽しむ集い」も、間近で演奏が聴けて、いい企画でした。

佐野 照明の林恵介も九月のユニバーシアードの時「傘の内」で傘のシルエットを使って道行きの暗示を、薄墨色でうまく出していました。花柳寿晃が神戸市の文化賞を受賞したのと、若柳吉金吾の師範二十周年記念舞踊会も、一つの

話題でした。

★努力の成果があがった尚詩に

佐野 ざっと見渡してみると、貞松・浜田バレエ団、松本尚詩、大和楽社中あたりですか。

名生 貞松・浜田バレエ団は、レベルは落ちないですから、次回も楽しみます。

岡田 団としてのまとまりがありますから盤石ですね。その点、松本尚詩は、個人で非常に頑張ってきた、その努力に対してあげたい気がします。

名生 昨年一年間よく工夫、努力して、内容もよくなっていますから岡田 舞台数も多いですし、大変だったと思いますけど、努力の成果を見せて貰えました。大和楽社中も、基盤が出来たので、これからもっと期待出来ると思います。

佐野 ブルーメール賞という意味からいって、個人で頑張っている松本尚詩に賞をあげて、この賞を励みにさらに良い舞台をということにしましょう。△文中敬称略▽

●受賞者メモリアル

- |          |            |
|----------|------------|
| 1 花柳芳恵一子 | 8 藤井 徳三    |
| <邦舞家>    | <能楽師>      |
| 2 若柳吉由二  | 9 海野 光子    |
| <邦舞家>    | <仮名手座歌舞伎>  |
| 3 吉井 順一  | 10 コメディ・ド・ |
| <能楽師>    | フーゲツ       |
| 4 花柳芳五三郎 | 11 加藤 きよ子  |
| <邦舞家>    | <モダンダンス>   |
| 5 花柳 吉叟  | 12 藤田 佳代   |
| <邦舞家>    | <舞踊家>      |
| 6 藤間緑寿郎  | 13 花柳五三輔   |
| <邦舞家>    | <邦舞家>      |
| 7 尾上 菊見  | 14 白羽 弥仁   |
| <邦舞家>    | <映画監督>     |



小 泉 美喜子  
＜本誌副編集長＞



藤 本 ハルミ  
＜デザイナー＞



福 富 芳 美  
＜神戸ドレスメーカー学院々長＞



森 本 泰 好  
＜神戸地下街専務＞



《ファッション部門》  
選考座談会

燃焼度高い

“K・F・M”

《コウベ・ファッション》に。  
モデリスト

★底力を見せてきた大阪に対して  
神戸は独自性を

小泉 「神戸っ子」も今年で25周年を迎え、ブルーメール賞も15年目、ファッション部門は9回目になります。昨年全般にわたっての傾向はいかがでしたでしょうか。

森本 大阪がファッション全体にわたって非常に積極的になってきている。神戸のように衣服だけでなく生活そのものをトータルにファッションと見なし、行動しはじめています。神戸もどうかできませんね。

福富 神戸は、大阪でも京都でもない特異性を持つべきですね。お菓子、洋家具、真珠など、どこにも真似のできない分野で力をつけていきたい。

藤本 確かに神戸は経済力では大阪にたちうちできませんが、こじんまりとまとまっている街だから色々な業種の人達と交流でき、多

面的にファッションを考えられま  
すね。トータルファッションフェ  
アなど実験的なことをやる街で  
すよ。そこが神戸の良さです。

小泉 KFMのショーを真珠業界  
と実験的にアメリカへ持って行っ  
てはどうかとの案もあります。

藤本 真珠業界の人同士の交流も  
盛んになってきていますし、また  
真珠会社と服飾デザイナーといっ  
た異質なものが結びつく事で発想  
がより飛躍しますね。

福富 また上層部だけでなく、実  
際に自分の手で仕事をしている人  
達の集りを作って自由な発想の場  
をもちたいですね。

森本 神戸市内の総生産高で、鉄  
鋼部門をおさえ、ファッション部  
門の総生産高のびてきており、フ  
ァッションは神戸を支える柱とし  
て着実に地を固めつつある。そこ  
で問題になるのが美意識の問題で  
お客の方がプロより上回る場合も



出てくる。プロはより以上のものをいつも追求していないと取り残されていきますよ。

★盛り上がりを見せるK・F・Mに藤本 そういう意味で、K・F・Mは今、充実していますね。

小泉 それと、風月堂相談役の吉川冬季子が創った「源氏の由可里」も見逃せないですね。ただすでに85国際産業映画祭で「源氏の由可里」のビデオが経団連賞B部門三位を受賞していますけれど。

森本 神戸といえば洋菓子のイメージが強いですが、和菓子の存在を知らしめた点での功績は評価されていいですね。

福富 京都や大阪でもあれだけの和菓子は創れないですね。創る人の持つインテリジェンスが加えら

れ、神戸という土地だからこそ出来た創作和菓子ですよ。

小泉 そのほかの候補として、大丸九井シラロンの大西節子が力をつけてきていますね。大里最世子も活躍の場が広がってきているし、藤井美智子も、昨年10月20日にゴルフポートピア88でショーを開き、意欲を見せています。

藤本 団体で考えると、K・F・Mは真珠業界の方もやる気一杯で、熱気がありますね。ショーを見た方で、あれは、自分の内から出た表現ではないと言う方がいましたが、与えられたテーマをこなしていくという事は、すごく実力がつくんですよ。ですから六年前に始めた頃に比べて、皆さんぐんぐんレベルアップしてきてます。

福富 確かに、毎回どんなショーが出来るとか楽しみにはしていますが、ショーをやる側の人達が大変なんですよええ。

藤本 かなりのパワーがいりますね。内から情熱を奮い起こして、燃焼させないと。いつまで続くかと考える時もあります。

福富 自分、解散せずに頑張ってくださいよ。それと後継者の育成もお互い力を入れたいですね。

小泉 源氏の由可里も、新しい感覚が入った和菓子でファッション性もあり、吉川冬季子の地道な努力も賞に価するところですけど、ブルーメール賞本来の意味からいうと、これからの一層の活躍が期待されるという未来性を買ってK・F・Mというところですね。

森本 昨年は、レベルが高く、本当に甲乙つけがたいですけど、K・F・Mが神戸だけでなく世界へ進出していくのを期待し、今回のブルーメール賞はK・F・Mに贈るという事で決定ですね。△文中敬称略▽

#### ●受賞者メモリアル

1. 藤本 ハルミ <服飾デザイナー>
2. 米田 博司  
<神戸市心身障害福祉センター>
3. 市野木江充子  
<ニットデザイナー>
4. KJTC  
<コウベジュニアテラーズクラブ>
5. 太田タマコ <アートフラワー>
6. KFS  
<コウベファッションソサエティ>
7. 「真珠の街・神戸」を考えるプロジェクトチーム <パール>
8. 神戸市家具青年部会 <家具>



60年10月1日、神戸ポートピアホテル催業の間で行われたK・F・M第5回ファッションショーより